

1000年先の未来へ。  
美しい里、豊かな海



かがわ里海大学2021 スタートアップ講座

# 海の生き物観察講座 ～磯の生き物編～(さぬき市会場)

開催しました!



- 日時 令和3年7月10日(土) 16:00～18:00
- 会場 津田公民館北山分館付近の海岸
- 講師 谷 光承 氏 (里海ガイド養成講座(応用)修了生)
- 講師アシスタント 幸池 麻美 氏 (海の生き物観察力向上講座修了生)  
溝渕 誠 氏 (海の生き物観察力向上講座修了生)

7月10日土曜日、津田公民館北山分館付近の海岸で、かがわ里海大学2021スタートアップ講座「海の生き物観察講座～磯の生き物編～」を開催し、20名が講座に参加しました。講師に、かがわ里海大学里海ガイド養成講座(応用)修了生の谷 光承氏を迎えて講座を開催しました。この講座は、瀬戸内海の海岸の磯にはどのような生物いるのかをチェックシートを用いながら確認し、海のきれいさ・豊かさを調べる目的として開催しました。

まず講師から、瀬戸内海に面する海で観察できそうな貝などの生物について紹介があり、フィールドワークの際にどんなところに注目して観察したらよいかについて解説がありました。





その後海岸へ行き、磯に住む生物を探しました。磯の岩には様々な貝が張り付いていました。その中の「タマキビ(アラタマキビ)」は波打ち際より少し離れた岩に生息しており、海水に入れておくとうどうなるか実験をしました。しばらくすると、タマキビはバケツの中から逃げ出しており、海水に浸かる状況は苦手だということがわかりました。



海水に近い部分では、また違った生物がたくさん住んでいることがわかりました。ウニやカニ、ナマコなども観察できました。同じ磯でも、水に近い部分と陸寄りの岩の部分では、住んでいる生き物も異なっていることがわかりました。潮の満ち引きで海面の高さが変わることによって生物も移動していると解説がありました。

その後、採集した生物を集めて、数を調べたり写真を撮ったりしました。磯には非常に多くの生物がいることが観察できて、受講生からは驚きの声が挙がっていました。



その後、再び公民館へ戻り、チェックシートを用いて、どのような生物が発見できたか、その生物がどのくらいの量観察できたかをまとめました。

磯で非常に多く生息している生物、逆に全く観察できなかった生物などを点数化して、その点数でその海がどの程度の環境なのかを調べることができると解説があり、今回の観察では、このあたりの海は「きれいな海」で「豊かな海」であることがわかりました

同じ海でも磯は砂浜のある海とはまた違った多種多様な生物が生息しているということを観察でき、受講者からは「普段できない体験ができた」という感想がありました。